



2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <https://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊藤 暁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	8,244	△6.3	△365	—	△292	—	△287	—
2026年3月期第1四半期	8,795	14.0	153	—	136	—	16	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △41百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△43.43	—
2026年3月期第1四半期	2.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	64,219	42,081	65.5
2026年3月期	67,198	42,652	63.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 42,081百万円 2026年3月期 42,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	9.4	600	△32.2	550	△36.3	400	△12.8	60.51
通期	50,000	17.6	3,000	97.6	2,900	88.9	2,000	62.0	302.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	6,703,795 株	2026年3月期	6,703,795 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	93,974 株	2026年3月期	93,742 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	6,609,936 株	2026年3月期1Q	6,610,953 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの継続に加え、米国の通商政策がもたらす影響への懸念から、依然として先行きが見通しにくい状況が続きました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇の長期化や米国通商政策の影響等により、今後の景気動向には不確実性が残る状況となりました。

このような中で当社グループは、今期が3年目にあたる中期経営計画「“INOFINITY 700” Innovation × Infinity」に掲げた「世界に類のない『総合砥粒加工機メーカー』として、平面研削盤・半導体ウェーハ研磨装置でグローバルNo. 1を目指す」ことを長期ビジョンとして、2030年3月期の売上高700億円の目標達成に向け、販売体制の強化に加え、新規ユーザーの獲得に向けた東京テクニカルセンターの活用など業績向上に努めてまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は8,244百万円(前年同期比6.3%減)、営業損失は365百万円(前年同期は営業利益153百万円)、経常損失は292百万円(前年同期は経常利益136百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は287百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益16百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①工作機械事業

国内市場におきましては、中小企業の設備投資を支援する各種補助金の後押しを受け、中型平面研削盤の更新需要があり受注・売上ともに前年同期を上回りました。

海外市場におきましては、米国では、航空宇宙産業を中心とした設備投資需要が堅調に推移したことから、受注・売上ともに前年同期を上回りました。欧州では、イタリアをはじめとするドイツ以外の地域が受注を下支えし、受注・売上ともに前年同期並みとなりました。中国では、産業機械、金型、半導体装置向けを中心に大型平面研削盤の受注が好調に推移し、受注・売上ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は6,056百万円(前年同期比21.0%増)、セグメント損失(営業損失)は199百万円(前年同期はセグメント損失512百万円)となりました。

②半導体関連装置事業

半導体市場におきましては、生成AIの普及に伴うAIデータセンター投資の拡大を中心に、IoTの進展等を背景として、中長期的な市場の成長が見込まれております。市況としては、シリコンウェーハの在庫調整正常化が進みつつあるとともに、先端パッケージであるPLP向け加工装置など次世代分野への関心も高まりつつあります。

このような状況の中で当社グループは、半導体事業の収益力維持、向上を目指して、ウェーハ業界向けのポリッシャーやグラインダの次世代新機種開発などの施策を推し進めてまいりました。受注につきましては、国内や東アジア向けにファイナルポリッシャーの受注を獲得し前年同期を上回ることができました。一方で売上は、国内や東アジア向けに化合物半導体加工用およびウェーハ生産用ファイナルポリッシャーやグラインダを販売したものの、一部の案件がユーザーの要望で、第2四半期以降へずれ込んだこと等により、前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は2,188百万円(前年同期比42.2%減)、セグメント利益(営業利益)は151百万円(前年同期比85.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,978百万円減少し、64,219百万円となりました。主な要因は、有価証券が2,600百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して2,407百万円減少し、22,138百万円となりました。主な要因は、契約負債が2,093百万円増加した一方で、短期借入金3,587百万円、支払手形及び買掛金349百万円、長期借入金211百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して571百万円減少し、42,081百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が232百万円増加した一方で、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上287百万円、配当金の支払い528百万円により815百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.5%から65.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、2026年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,227	12,503
受取手形、売掛金及び契約資産	9,489	7,167
有価証券	2,600	—
商品及び製品	5,873	6,452
仕掛品	7,974	8,779
原材料及び貯蔵品	3,937	3,882
その他	1,166	1,221
貸倒引当金	△159	△147
流動資産合計	43,108	39,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,063	8,920
機械装置及び運搬具（純額）	4,955	5,442
その他（純額）	6,580	6,433
有形固定資産合計	20,599	20,796
無形固定資産	537	511
投資その他の資産		
投資有価証券	378	426
退職給付に係る資産	1,926	1,941
その他	669	707
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	2,952	3,052
固定資産合計	24,089	24,360
資産合計	67,198	64,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,762	2,412
電子記録債務	827	922
短期借入金	7,144	3,557
1年内返済予定の長期借入金	961	961
未払法人税等	202	88
契約負債	3,678	5,772
賞与引当金	532	400
製品保証引当金	46	44
その他	2,774	2,762
流動負債合計	18,932	16,921
固定負債		
長期借入金	3,153	2,941
退職給付に係る負債	1,275	1,308
資産除去債務	118	118
その他	1,066	847
固定負債合計	5,613	5,216
負債合計	24,545	22,138

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,783	9,783
資本剰余金	5,042	5,042
利益剰余金	23,433	22,617
自己株式	△401	△402
株主資本合計	37,858	37,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	126
為替換算調整勘定	4,056	4,289
退職給付に係る調整累計額	642	624
その他の包括利益累計額合計	4,794	5,040
純資産合計	42,652	42,081
負債純資産合計	67,198	64,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,795	8,244
売上原価	6,225	6,299
売上総利益	2,569	1,944
販売費及び一般管理費	2,416	2,310
営業利益又は営業損失(△)	153	△365
営業外収益		
受取利息	12	18
受取配当金	7	4
助成金収入	16	0
物品売却益	13	17
為替差益	—	72
その他	8	14
営業外収益合計	58	128
営業外費用		
支払利息	37	38
支払手数料	3	3
為替差損	20	—
その他	14	13
営業外費用合計	75	55
経常利益又は経常損失(△)	136	△292
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産処分損	1	9
特別損失合計	1	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	135	△298
法人税等	119	△11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16	△287
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△287

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16	△287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	31
為替換算調整勘定	△23	232
退職給付に係る調整額	△8	△17
その他の包括利益合計	△18	245
四半期包括利益	△2	△41
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2	△41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	510百万円	609百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,006	3,788	8,795	—	8,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,006	3,788	8,795	—	8,795
セグメント利益又は損失(△)	△512	1,014	502	△348	153

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△348百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,056	2,188	8,244	—	8,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,056	2,188	8,244	—	8,244
セグメント利益又は損失(△)	△199	151	△47	△317	△365

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△317百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
工作機械	8,922	139.8	14,106	128.1
半導体関連装置	7,011	469.7	20,768	116.1
合計	15,934	202.4	34,874	120.7

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
工作機械	6,056	121.0
半導体関連装置	2,188	57.8
合計	8,244	93.7